



©Lexus Pathfinder Air Racing / Yusuke Kashiwazaki



▲道の駅ふくしまに展示された機体モデル



▲スカイスポーツ教室の開会式

「空から福島を応援

今年4月27日に待望のグランドオープンを迎えた道の駅ふくしまでは、室屋さんが練習拠点とするふくしまスカイパークから近距離という縁もあり、コラボ企画が実現しました。道の駅ふくしまの施設内では、5月6日から5月30日までの間、室屋さんが実際のレースで使用する「EDGE 540」のカラーリングを施した実物の3分の1サイズ(全幅3m)の機体モデルを展示。期間中の5月7日には道の駅ふくしまの上空で、室屋さんによる迫力満点のサプライズエアショーが行われ、世界一の飛行技術で道の駅ふくしまの開業に花を添えていただきました。

「地域と共に

人とのつながりも大切にしている室屋さん。未来の自分を描くきっかけをつくる子ども向けの航空教室「空ラボ」などを通じて航空スポーツの魅力と可能性の発信や次世代を担う人材育成に尽力されています。

最近では、気分が暗くなりがちなかコロナ禍の中で空を見上げて少しでも気分をリフレッシュ

「室屋義秀さんは本市を拠点とするアジアン唯一のエアレース・パイロットです。」

2009年にレッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップに初参戦。華々しい活躍の陰で、孤独と不安から幾度となく心が折れそうになりながらも、着実に肉体と精神の鍛錬を重ね、2017年シーズンには年間総合優勝を果たしました。今年も新たな形でエアレース・ワールドチャンピオンシップが再開。そこに3年ぶりに参戦する室屋義秀さんの特集します。

むろや よしひで
室屋 義秀 さん

エアレース・パイロット
昭和48年奈良県生まれ。アニメ「機動戦士ガンダム」に憧れ、進学した中央大学で航空部に入部。グライダーを学ぶ。20歳の時に渡米し、飛行機のライセンスを取得。1995年、兵庫県で開かれたエアロパティックス(曲技飛行)の国際大会「ブライトリング・ワールドカップ」に魅せられ、「操縦技術世界一」を目指す。1998年からエアショーに、2009年からエアレースに参戦。2017年、レッドブル・エアレース8戦中4大会を制しワールドチャンピオンに輝く。「福島県民栄誉賞」「福島市ふるさと栄誉賞」「福島市スポーツ賞」など多数受賞。「ふくしまスポーツアンバサダー」として福島の魅力を発信中。

してもらうため、県内のみならず日本各地の空でフライトを行い、多くの人に笑顔とエールを届けています。

「世界への挑戦再び

レッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップは2019年シーズンをもって終了となりましたが、今年も「エアレース・ワールドチャンピオンシップ」の開催と室屋さんの参戦が予定されています。

再び世界の舞台で戦う室屋さんに注目し、初代世界チャンピオンへの挑戦を応援しましょう!

Check

室屋さんの最新の活動情報、エアレース参戦スケジュールなどは公式ホームページをご覧ください。



2020年
「#大空を見上げよう」スタート
©PATHFINDER

2020年
15歳以上のユース世代が自家用操縦士免許取得を目指す「ユースパイロットプログラム」スタート
©Taro Imahara PATHFINDER

2019年
航空から未来を考える教室「空ラボ」開講
©Taro Imahara PATHFINDER

2017年
レッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップアジア人初の年間総合優勝
©Taro Imahara PATHFINDER

2013年
世界曲技飛行選手権フリースタイル入賞
©Taro Imahara PATHFINDER

2011年
東日本大震災により被災ヘリコプターによる緊急支援活動に取り組む
©Taro Imahara PATHFINDER

2009年
レッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップに参戦
©Taro Imahara PATHFINDER

1999年
ふくしまスカイパーク(大笹生)を拠点に活動開始

「軌跡」





©Osamu Abe PATHFINDER

エアレース世界選手権に向けたトレーニングや航空教室、エアショーなど多忙を極める室屋さん。そのような中、エアレースに向けての意気込みや福島への思いなどを伺いました。

―3年ぶりの開催となるエアレース。準備は万端でわくわく感でいっぱいだと思いますが、レース再開が決まった時や現在の心境はいかがですか。

2019年にレースシリーズが終了し、半年後にはコロナ禍に突入しました。

なかなか活動が出来ずに地道な準備が続いていたので、再開が決まった時は生気が戻ってきた感じでした！そして開幕に向けての準備内容を入念に検討して、淡々と準備を進めてきました。今の心境は、色々と準備をし

ていた幼稚園生が発表会を待つ、そんな感じですかね。

―新しい体制、新しい機体での参戦となりますがいかがですか。

チーム体制は大きく変わりました。レクサスとのパートナー契約により機体開発の技術サポートなどワークスチーム体制が整い、格段に環境が良くなりました。

機体は、2019年の機体を改良しアップデートされています。現在までのテストフライト結果は良好で、スピードアップしています。

―エアレースの休止期間が2011年から2019年からのそれぞれ3年間ありましたが、受け止めの違いはありますか。

非常に似たような展開となっています。2011年は震災の影響があり、2020年はコロナ禍の影響がありました。

10年前より、メンタルトレーニングなどを経て精神的に強くなっているのが、外部要因に翻弄されにくくなっていると思います。

―休止期間中は小中学生を対象とした講演会や航空教室などを精力的に開催されていましたが、未来を担う子どもたちにメッセージをお願ひします。

私自身、今現在も好きなことをして生きています。好きなことをして生きていくのは難しいと多くの人が勘違い

しています。

楽しんで生活している大人に相談してみると、いいアドバイスをもらえるかもしれませんね。

―最後に、室屋さんにとって「福島」とは。そして、私たち市民も室屋さんと一緒に戦うために、できることはありますか。

すでに在福島も23年になり、人生で最も長く過ごしている場所です。

ですので「地元」と自然に思っています。

皆でよい福島市を創りあげること、そしてチーム福島として世界一を目指すことで、福島を世界に知ってもらえたらと思っています。



©Lexus Pathfinder Air Racing/Yusuke Kashiwazaki

日本でここだけ！ 室屋さんが空を舞う道の駅

県内最大級の道の駅「道の駅ふくしま」が東北中央自動車道「福島大笹生インター」近くにオープンしました。

ここでは、新鮮な野菜や果物、地元産食材を使ったレストランやフードコートなどを食べて楽しむだけでなく、運が良ければ近くにあるふくしまスカイパークでの室屋選手の練習飛行を観ることができます。

皆さんも「道の駅ふくしま」にお出かけください。



©Taro Imahara PATHFINDER

▲道の駅ふくしま上空で披露されたエアショー

所 大笹生字月崎1-1
問 道の駅ふくしま ☎572-4588

